

志に応え、あらたな価値の創造をめざす。

高知工科大学起業マネジメントコースは、組織や社会における高度で複雑な課題を解決し、新たな価値を創造するリーダーを育成する、社会人のための大学院です。

豊富な実務経験を有する実務家教員と深い知見を持つ研究者教員をバランスよく配置し、少人数制による丁寧な研究指導と体系化されたカリキュラムを通じてマネジメントの理論と実践力を磨きます。



“10年先取り”の高知で
新時代の魁となる社会人大学院に取り組む。

1999年4月、本学は大学院工学研究科を開設し、基盤工学専攻のひとつとして起業家コースを設置しました。技術と経営とを融合した起業工学を提唱し、起業実践を目標とした同コースはわが国においてきわめて先駆的な試みでした。その後、時代の変化とともに、中小企業の第二創業や事業承継、NPOによる社会的事業の立ち上げ、あるいは行政による地域活性化事業など様々な研究論文テーマが登場し、起業概念も拡張してきました。すなわち本学が提唱する起業とは、会社の設立を指すにとどまらず、様々な組織が自らの抱える課題を解決し変化に適應するあり方をも含むように進化してきたのです。そこで2017年4月より、起業家コースを起業マネジメントコースと改称し、これからの脱成長の時代にさらに魁となる社会人のための大学院に取り組むこととしました。起業とは新しい価値を創造することにほかなりません。その価値創造を不断に実現していくことがマネジメントの真髄です。そしてこのようなマネジメントを体得した人材が輩出する場となることが私たちの目指すところです。高知県は、人口減少や少子高齢化など日本がこれから直面する課題を10年先取りしているとも言われます。だからこそ、高知であらたな価値の創造に向けて起業マネジメントを学び、研究することの意味は大きいといえます。多くの社会人の皆様に、最良の学びの場と機会を提供できるよう努力してまいります。

Masahiko Uchida

高知工科大学
学長 磯部 雅彦

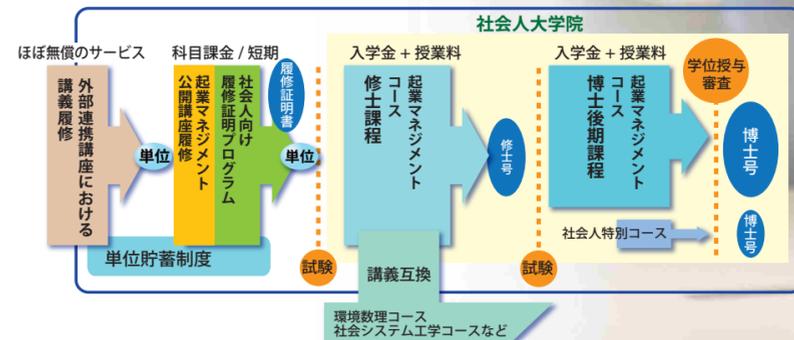
POINT **社会人のための大学院です。**
高度知識社会に向けて開かれた学びの場

POINT **土曜日と日曜日の講義が中心です。**
働きながら学べる年間講義スケジュール

POINT **東京、大阪の教室で受講できます。**
高知以外に東京、大阪の都心でテレビ会議による講義と講師派遣

POINT **修士、博士の学位取得が可能です。**
学修、研究の成果にもとづき学位認定

高知工科大学がめざす社会人のための高等教育サービス



←
A 201- A 209
講義室
Lecture Room
アクティブラーニング
スタジオ
Active Learning Studio
情報・語学演習室
Computer/ Language Learning Lab
経済実験室
Experimental Social Design Lab

永国寺キャンパス教育研究棟

コース長
那須 清吾 教授
インタビュー



多様性こそ、価値創造を成功に導く鍵。

－ 起業マネジメントコースのめざすところは？

起業と言うと、一度きりの行為という印象が強いのですが、我々は不断に新たな事業を企て続けることを起業ととらえています。つまり、起業＝価値創造と見ることで、既存の企業が抱える事業創造、業態転換、経営革新などのさまざまな課題解決に向けた取り組みも対象範囲とすることができると思っています。

元コース長である加納剛太先生は、技術者の持つ高度な技術を生かして価値創造し、新たな起業につなげるプロセスの体系化をめざそうと起業工学という概念を提唱しました。我々はその考え方を起点とし、工学技術の価値創造を基本に歩んできましたが、時代の流れとともに研究分野は大きく広がってきました。

今後は起業工学という概念は根幹に残しながらも、さらに多様な分野で課題解決や価値創造を行うことのできる人材の育成をめざしていきます。そして、自らの経験を活かして知を体系化したいという意欲を持った多様な立場のみなさんに、最適な教育プログラムの提供と研究

活動のバックアップを行います。

－ 起業マネジメントコースの指導体制や学びの特徴は？

経営学の理論を体系的に講義するとともに、現場のリアリティあふれる事例をできるだけ教材として取り上げたいと考えています。実際に動いている現実を見ながら、それを論理的に整理していくという起業の本質を学ぶことに力を注いでいきます。

教員の専門分野は経営学に限らず、工学、理学、農学、薬学など自然科学にも広く及び、この多様性が本コースの大きな特徴です。例えば、工学の教員と経営学の教員がペアで指導したり、課題解決に取り組みたい分野の専門家がコース内にいない場合は学内全体でバックアップし、場合によっては学外の専門家を指導教員として招くことも可能です。

こうしたさまざまな方法で専門家と実務家たちが深く連携しながら、学生の学びを支援していきます。社会が複雑化し、課題解決や価値創造に多様な分野の連携が不可欠になってきた今の時代、文理融合によ

る教育・研究は我々の大きな強みであると自負しています。

さらに、固定観念や単一な視点を打ち破り、多様な分野の多角的な指導を進めるため、集団指導体制を採用しています。東京と大阪で月に数回実施しているセミナーでは、複数の教員と学生だけでなく、卒業生や教員のOBなど、あらゆる立場の人たちが集まり、学生一人ひとりの研究発表について、遠慮なく疑問や意見をぶつけます。指導教員の単独の目で見られるのではなく、多様な分野の人たちが研究を徹底的に叩いてくれる。そんな場を通して、学生たちは研究の正しい方向性を速やかに発見していきます。

－ 修士課程と博士後期課程の主な違いは？

修士ではまず経営学の基礎科目をしっかり習得することが先決です。その上で、地域産業振興論や起業工学概論といった応用科目を学んでいきます。基礎とそれらを実践に生かす応用の両輪で知のベースを築き、社会的なインパクトのある研究活動へと進んでいきます。

博士ではさらに論理性や新規性が要求されます。博士論文でそれらが認められることで、博士の学位を取得できます。

－ 社会人が大学院で学ぶ意義とは？

MBA取得を目的とした大学院教育では、定式化されたスキルの習得に力点が置かれる場合が多く、それに対して、本コースではスキルを超えた課題解決や価値創造ができるマネジメント能力を見据えているところが特徴です。その力を獲得できれば、どんな立場であっても有能な人材として生きていくことができるでしょう。そのことが、社会人が大学院で学ぶ大きな意義であると考えています。

－ 身に付けるべきマネジメント能力とは？

マネジメント能力とは、課題を素早く発見し分析し、それに対する解決方法に気づき、具体化できること。その結果が課題解決や価値創造です。例えば、経営戦略論やマーケティングを学んだからと言って、すぐに経営ができるわけではありません。幅広い学問を網羅的に習得しなければ、実践することは難しい。つまり、マネジメント能力を獲得するには、基礎と応用の科目を学修、そして実践的能力を身に付ける研究という3つをこなすことで、バランスよく知識とその応用能力を習得することが不可欠と言えるでしょう。

－ 研究活動のプロセスは？

経営的課題には多様な要素が複雑に絡み合っているため、単独の学問で解決することは不可能です。そこで、最低3つの専門領域を持ち、それらを組み合わせて研究を進めることを必須としています。

そのプロセスは、まず疑問を持つことから始まります。そこから、その疑問がなぜ起きるのか、どう解決すればよいのかという研究目的が生まれます。次に、それをどう研究するのかという研究方法を考えていく必要があります。

工学は、多くの場合まず論理を仮説として提示して、実験しながら証

明していきます。一方、経営学はどちらかと言うと現象が複雑なので、まず現象を観察し、それを詳細に記述することで裏に潜んでいる仕組みを洞察する記述的推論方式が多い。それぞれに特徴はありますが、複雑な課題解決や事業創造・起業には複合的なアプローチが必要です。つまり理系文系に関わらず、研究目的のために必要な研究方法をどのように設計するのが重要なのです。研究というのは、確からしい論理についての不確実性を下げる行為であり、その点では工学と経営学の研究の間に区別はありません。分野の枠にとらわれず、研究方法を柔軟に開拓していくことが求められます。

こうした研究方法を自ら構築できる力も、マネジメント能力の一つ。研究のプロセスを体系的に学ぶことは、実社会でも大いに生きてくるはずです。

－ 卒業生の活躍状況は？

実際に起業している方々のほか、経営者の方は新たなビジネスをつくらせたり、企業の社員の方は企業内で新事業を立ち上げたりと、それぞれの立場で学びを実践の場に生かしています。

博士号を取得した卒業生は、大学教員になっている割合が高く、特に最近増えてきた地方創成を掲げる学部での活躍が目立ちます。これも、社会に対してインパクトの大きい価値創造ができる人材へのニーズが非常に大きいことの表れだと思っています。

－ 求める学生像は？

業種や立場は問わず、多様な方々に本コースの門を叩いてほしい。現に今の学生さんも経営者、会社員、行政職員、個人で起業しようとしている方など、バックグラウンドはさまざまです。複雑な社会にあって、多様性を持ち続けることが価値創造を成功に導く鍵になると確信しています。多様な学生のみなさんと、多様な分野の研究を深めながら、我々も一緒に進化を続けていきたいですね。



那須 清吾 教授 NASU, Seigo
専門分野 / 行政経営、公共経済学、
社会マネジメントシステム学

大阪府の出身ですが、3歳から9歳までアフリカのケニアで過ごしました。アフリカという広大なサバンナや砂漠などを思い浮かべますが、当時のケニアの首都ナイロビは、日本のどの都市よりも近代的でした。英語とスワヒリ語を操って日常生活を送っていた幼少時の経験が、グローバルな感覚や物事を俯瞰して見つめる力を身につけた基礎となっているのかもしれない。普段の趣味は寺巡り。各地での出張の際には、気に入った寺に立ち寄るのが楽しみの一つになっています。歴史ある建物の風情やその成り立ちに思いを馳せる時間が大好きです。なかでも気に入って何度も訪れているのが、高知県土佐市の青龍寺。弘法大師が唐の長安から帰国して初めて造営したといわれる由緒ある寺で、そこに佇むだけで心が落ち着きますね。

多様な社会人の学修ニーズに対応

経営者には

- ・経営戦略
- ・技術戦略
- ・事業創造

複雑な経営環境の中で新しい事業展開、事業承継を実践的に考える好機となります。

- 対応
科目例
- ・経営戦略論
 - ・技術経営論
 - ・起業工学概論

技術者には

- ・経営力
- ・起業力

技術を経営資源に事業を創造する起業工学が学べます。事業を支える資金調達と財務、マーケティング、バリューチェーンの創造などが学べます。

- 対応
科目例
- ・財務会計
 - ・マーケティング戦略
 - ・起業工学概論

組織の次世代中核人材には

- ・総合的な経営能力

組織を担うための経営学の基礎と実践的応用力が修得できます。組織の抱える課題解決のための方法論が学べます。

- 対応
科目例
- ・経営戦略論
 - ・組織経営論
 - ・人的資源管理

志ある人には

- ・起業、顧客価値創造の力

構想を具体化するための実践的な事業企画を立案できます。構想実現のための事業創造プロセスを実践的に考察することができます。

- 対応
科目例
- ・財務会計
 - ・起業工学概論

広く学びたい人には

- ・起業、経営の基礎修得
- ・人との出会いの場

多様な専門領域の学びを新たな領域横断的な発想で活かせるようになります。経営学を基礎として様々な分野の課題解決を図る力が身につきます。

- 対応
科目例
- ・経営者論
 - ・地域産業振興論

実践で活躍した人には

- ・学術としての集大成の機会

実践的な経営経験を学術的に体系化することができます。多方面の先行研究の上に、次世代のための知を積み重ねることができます。

- 対応
科目例
- ・経営戦略論
 - ・起業工学概論
 - ・地域産業振興論

学位取得までの流れ

修士課程 学位：修士(工学)又は修士(学術)

あらゆる組織経営の基本となる精選された科目体系と多彩な講師陣により、マネジメントの基礎から応用までを一貫して学べます。

工学系のコースが提供するビッグデータ解析や統合GISなど、先端講義も受講できます。

通常、2カ年の課程期間に30単位を修得し、自ら設定したテーマで修士論文を作成することで、修士の学位が取得できます。

<修了要件>

- ①2年以上の在学期間
- ②特別研究8単位(必修)の取得
- ※修士論文の審査及び最終試験に合格
- ③専門領域科目18単位以上の取得(セミナー科目を除く)
- ④合計30単位以上の取得

博士後期課程 学位：博士(工学)又は博士(学術)

会社設立はもとより、企業内起業、第二創業、事業創造など自らが抱える課題の解決そのものをテーマに、実学を追求できます。

高知県の地域の中での本学地域連携機構の実践事例を生きた教材とし、その一般解を探究することができます。

通常、3カ年の課程期間に10単位の修得と平行して、自身のテーマに応じた研究を行い、博士論文を作成します。

<修了要件>

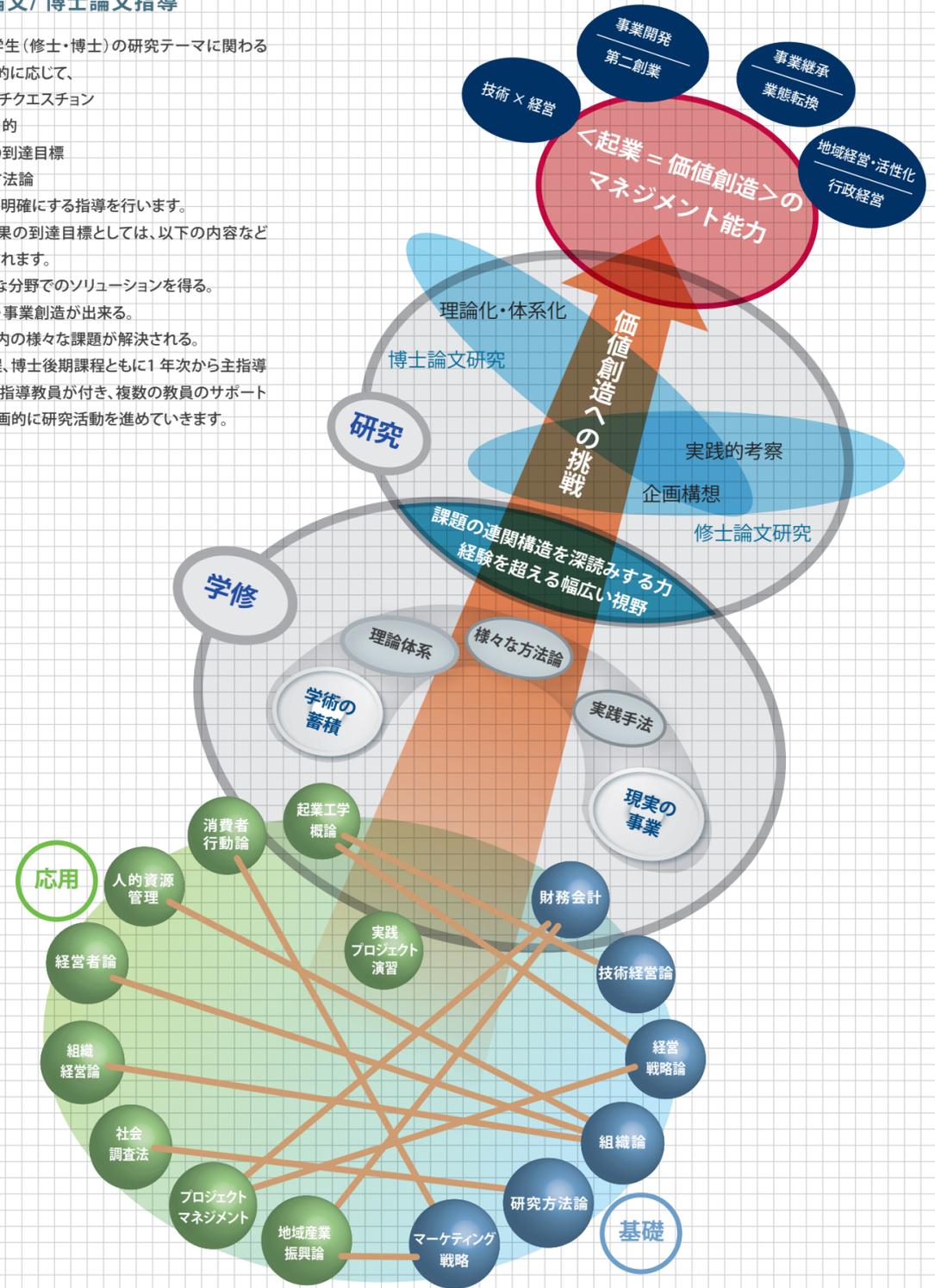
- ①3年以上在学、②10単位以上の取得、③学位論文審査に合格

博士論文の作成にはテーマに適した担当教員が複数、個別に指導にあたります。博士論文の審査により、従来の知の体系に対する新たな価値の提供が認められることで、博士の学位が取得できます。

修士論文/博士論文指導

社会人学生(修士・博士)の研究テーマに関わる希望・目的に応じて、

- ①リサーチクエスト
 - ②研究目的
 - ③成果の到達目標
 - ④研究方法論
- を最初に明確にする指導を行います。とくに成果の到達目標としては、以下の内容などが想定されます。
- 1) 様々な分野でのソリューションを得る。
 - 2) 起業・事業創造が出来る。
 - 3) 企業内の様々な課題が解決される。
- 修士課程、博士後期課程ともに1年次から主指導教員と副指導教員が付き、複数の教員のサポートにより計画的に研究活動を進めていきます。



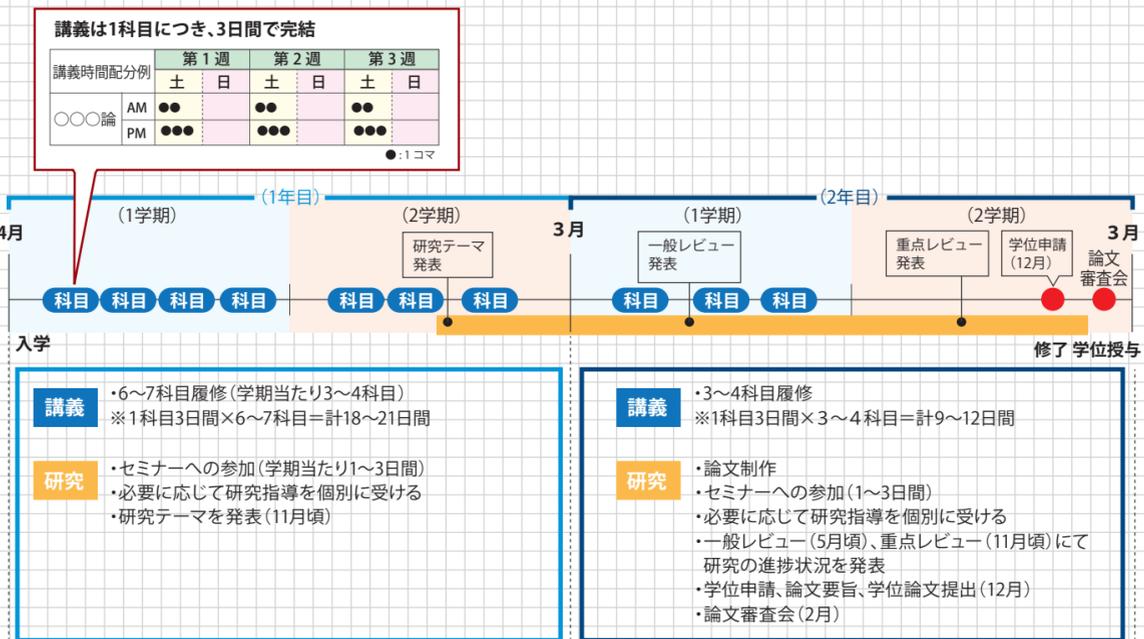
多忙な社会人が学び続けられる仕組み

週末短期集中型授業

授業は、基本的に土曜日または日曜日の3日間(3週)で1科目を短期集中的に学び、単位を取得できる講義スケジュールです。

AM	1限 (8:50~10:20)	PM	3限 (13:00~14:30)
	2限 (10:30~12:00)		4限 (14:40~16:10)
			5限 (16:20~17:50)

修士課程修了までの学修モデル(イメージ)



博士後期課程修了までの学修モデル(イメージ)



科目等履修生制度と単位認定システム(単位貯蓄制度)

入学前に、科目等履修生として起業マネジメントコースの授業を1科目から履修可能です。

さらに、取得した単位は、入学後、修了に必要な単位として認められます(最大10単位)。

入学する前に、実際の授業を受講してみたいと考えている方におすすめです。

授業料:1科目(2単位)当たり66,000円
※別途入学金、検定料あり

研究発表・審査会

授業では多様な背景を持つ社会人学生相互の意見交換が重視されます。さらに、年数回の研究発表・審査会においては、それぞれの研究企画および研究成果をめぐって、教員はもとより学生相互も交えて激論が戦われます。

スタディ・ツアー

学修の一環として、任意参加の視察合宿も予定されています。写真(下)は、その対象の一つ、宿毛市において高知工大発のベンチャー企業、(株)グリーンエネルギー研究所が操業するバイオマス火力発電所&ペレット製造プラント。



バイオマス火力発電所

長期履修プログラム(修士課程)

最短2年6カ月、最長10年間で学べる長期履修プログラムは、仕事を続けながら長期計画で学位取得をめざす社会人のための制度です。

授業料は履修登録ごとの納入となります。

教育訓練給付金制度(一般教育)

起業マネジメントコースは、厚生労働大臣から一般教育訓練講座として指定されています。コースを修了した学生は、本人が支払った入学金及び授業料(最大1年分)の20%相当の額(上限10万円)の受給を受けることが可能です。

※受給資格等の詳細は、ハローワークにお問い合わせください。

双方向リアルタイム授業

いずれも交通アクセスの良い高知教室(永国寺キャンパス、東京教室(田町)、大阪教室(中之島)の3つの教室をテレビ会議システムで繋ぎ、双方向による遠隔授業を行なっています。学生は東京、大阪、高知のいずれからでも講義に参加でき、リアルタイムで講師と質疑応答が可能です。



大阪教室(中之島)

入学金・授業料等

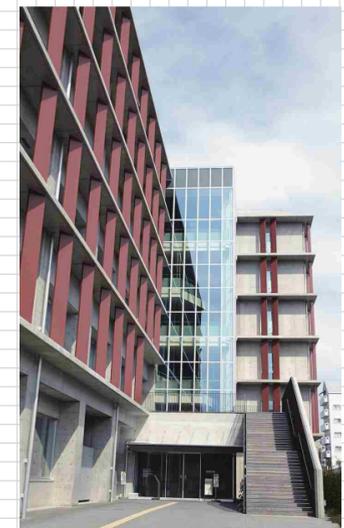
修士課程			
入学時期	修業年限	入学金	授業料(年間)
4月、10月	2年間	30万円	53万5800円

博士後期課程			
入学時期	修業年限	入学金	授業料(年間)
4月、10月	3年間	30万円	53万5800円

※高知県内在住者の入学金は15万円

入試制度

- 選抜方法
 - 面接(口頭試問を含む)および提出書類の総合判定
 - 出願期間:試験日等
- ※詳細は学生募集要項をご参照ください。



高知教室(永国寺キャンパス)